

# 神戸とカンボジア

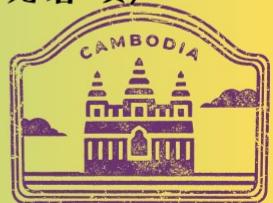
KICC



## JICA草の根技術協力事業 報告会

対面にて開催

(定員30名※先着順)



2025年

4月27日

10:00-12:30 日曜

神戸市の国際協力の取り組みに触れてみませんか？

神戸市は、JICAより草の根技術協力事業の委託を受け、2022年4月から3年間カンボジア国コンポントム州で教育支援に取り組みました(実施部隊はKICCです)。カンボジアの内陸部に位置するコンポントム州の小学生の笑顔や、カンボジアと日本で起きた変化をお伝えします！



### プログラム

神戸市の  
国際協力  
(10時～11時40分)

1. KICC 開会の挨拶
2. JICA 挨拶
3. プロジェクト概要説明
4. 専門家に聞いてみよう!
5. パネルディスカッション  
テーマ：「変化」  
詳しくはウラ面をご覧ください♪
- 6.Q&A

(随時入退室可能です)

### 草の根事業 の広がり

(11時50分～12時30分)

1. 神戸市外国語大学生の活動紹介
2. 日本研修協力校(小学校)への広がり
3. 閉会の挨拶



ご予約はこちらから  
【お問合せ】(平日9時～17時)  
078-742-8908

### 開催場所：

公益財団法人 神戸国際コミュニティセンター  
神戸市長田区腕塚町5丁目3番1号  
アスターにづか1番館 1階

KICC



# パネルディスカッションの 登壇者とテーマ紹介



## テーマ：「変化」

このプロジェクトを通して、どのような学びがあったのでしょうか？

また、どのような変化が生まれたのでしょうか？

カンボジアの将来の展望も含め、

プロジェクトで生まれた成果や変化をお伝えします。



司会：  
神戸まちづくりワークショップ  
西 修

神戸まちづくりワークショップ研究会 代表世話人。再開発事業をスタートに様々なまちづくりに携わるなかで、ワークショップに出会い、以来30年以上にわたって住民との協働のまちづくりの中でワークショップに関する経験を積んできた。2002年「神戸まちづくりワークショップ研究会」を結成。市職員やコンサルタント、ボランティアコーディネーターなど多様な業種のメンバーとともに、事例研究やプログラム開発、運営支援を行った。本プロジェクトでは、ファシリテーションを通してカンボジアの先生たちと「話し合いの場」作りに取り組んだ。



元JICA理数科教育プロジェクト専門家  
プロジェクトリーダー  
村山 哲也

1990年に青年海外協力隊に参加しケニア（理数科教師）へ。それをきっかけに途上国の教育開発支援をフィリピン、カンボジア、ルワンダなどで行う。JICA理数科教育プロジェクトSTEP SAM/STEP SAM 2の専門家を経験。現在はカンボジア在住。本プロジェクトでは、プロジェクトリーダーとして「探究の学び」の普及に取り組んだ。また、相談役として活動した。



神戸市外国语大学 準教授  
プロジェクト専門家  
岡本 義裕

神戸市外国语大学 総合文化グループ 准教授。「探究の学び」の専門家。プロジェクトの開始前から現地調査に赴き現地の先生たちとの関係性を築いた。プロジェクトでは模擬授業作りのサポートから、「探究の学び」に関するセミナー・ワークショップと幅広く取り組んだ。また、セミ生さんとクラウドファンディングを行い、カンボジア国 の教育環境改善に貢献した。



元JICA関西 職員  
プロジェクト案件担当  
中谷 郁恵

JICA関西・市民参加協力課職員として、市民が企画した途上国への協力活動をJICAが支援し、共同で事業を実施する「草の根技術協力事業」を担当。前職が教員であったことから、主に教育案件を担当してきた。教員時代に探究学習を実践してきた知見を生かし、案件担当者として本プロジェクトのコーディネーションを行った。



コンポントム州小学校教員養成校  
(PTTC)  
副校長 Mr. Chem Hong

カンボジア国コンポントム州にある小学校教員養成校(PTTC)の副校長先生。本プロジェクトでは、1年目と3年目の訪日研修に参加した。



コンポントム州小学校教員養成校  
(PTTC)  
教官 Ms. Pisey

カンボジア国コンポントム州にある小学校教員養成校(PTTC)の先生。専門はクメール語。本プロジェクトではチームリーダーや模擬授業を担当した。



本プロジェクト  
専任通訳者  
Mr. Tan Phinrith

本プロジェクトの通訳者。カンボジア国の日本語の観光ガイド。日本への留学経験があり、通訳、翻訳、観光ガイドなど幅広く活躍している。

